



創立70周年を迎えて

園長 小島 武志

11月21日(木)、荒川区立尾久幼稚園 創立70周年記念式典を厳かに、その中にも和やかな温かい雰囲気の中で執り行うことができました。ご臨席いただいたご来賓の皆様、地域の皆様、そして学校関係者の皆様、そして心温まるおもてなしやお手伝いをしてくださった保護者の皆様に深く感謝申し上げます。

尾久幼稚園が歩んできた70年という歳月の重みを再確認するとともに、本園を支えてくださった地域の皆様、そして歴代の方々が築いてくださった尾久幼稚園の伝統やこの家庭的な園の雰囲気を守り、さらに発展していくよう教育活動を進めてまいります。

式典には、在園児を代表してそら組(年長組)が参加しました。式典への参加は初めてなのでどの顔も緊張した表情をしており、背筋もピンと伸びた姿勢で座っていました。式典で歌う歌、国歌、区民の歌、そして園歌をそら組の子供たちは大人に負けじと大きな声で元気に歌っていました。お客様から「大きな声で立派に歌っていましたね。」をお褒めの言葉もいただきました。

「お祝いの言葉と歌」の「お祝いの言葉」では、そら組の「だいすき だいすき だいすき さ おぐようちえん だいすきさ」で始まり、尾久幼稚園のいいところや尾久幼稚園での生活、好きなところを語ってくれました。一人ひとりが大きな声で語り、堂々としていました。「歌」では、うさぎ組(年中組)も参加し、『心のバトン』をみんなで歌いました。

アトラクションでは、そら組が園庭で『蒼き獅子』を踊りました。運動会での隊形とは異なり、園庭の広さに合わせた新しい隊形で披露してくれました。みんなでリズムに合わせて軽やかに、時に力強く踊っていました。参観者から大きな大きな拍手をいただきました。拍手をもらった子供たちの笑顔が、とても素敵でした。

子供たちが、10年、20年経ってもこの尾久幼稚園の70周年の式典に参加したことを忘れないでいてほしいと思います。

式辞の一部を掲載します。



～尾久幼稚園の園章～

『尾久幼稚園は、資料によると、「混乱と荒廃の只中に立っていた当時、将来への期待、前途への希望は、時代を背負うであろう子らに対してだけ持つことができたのであった。こういう状況の赤土小学校の南側校舎の一隅に、昭和24年9月に生まれたのが荒川区立尾久幼稚園である。荒れきった校舎に150の新園児を迎えてスタートした幼稚園に、満足な机、腰掛はもとよりすべり台などあろうはずはない。役所からお金が出るまでは、縁のある人々を説きまわって借用書を入れて借金をして最小限の整備をした。』と、当時の状況が記されています。

このような環境の中で幼稚園を運営し、教育内容を整備・充実するためには、私たちが図り知りえないご苦労があったことと思います。

また、園児の中には、40分も50分もかけて徒歩で通っていた園児もいたと伺っています。尾久幼稚園は二度移転しています。昭和39年、赤土小学校改築のため園舎を東側に移し、昭和45年には、独立園舎として現在のこの地で教育に携われるようになりました。学級数3学級、159名の園児が通っていました。

開園より70年の時が過ぎて、尾久幼稚園児、教職員、そして保護者と一緒に喜びを分かち合えることを幸せに思います。

これもひとえに、開園以来、本園を支えてくださった荒川区ならびに、荒川区教育委員会をはじめ、地域の皆様、そして歴代園長、教職員、保護者の皆様の並々ならぬご努力、ご支援の賜と深く感謝申し上げます。

そら組のみなさん、この絵を見たことがありますか？これは、尾久幼稚園が70年前にできた時に一緒に作られた尾久幼稚園のマークです。ここに書かれている鳥は、ハトです。ハトは平和を表します。空を自由にのびのびと飛びます。このマークには、尾久幼稚園に通う子供たちが、自由にのびのびと育つようにとの思いが込められています。尾久幼稚園の皆さんは、毎日元気に登園してお友達と園庭でかけっこしたり、砂場遊びをしたり、保育室では絵本を読んだり、歌ったり、制作をしたりと、のびのびと自由に遊んでいますね。70年前の尾久幼稚園の子供たちもみんなと同じようにお友達と仲良く、のびのびと自由に遊んでいました。

この絵は覚えていますか。2年前に創立70周年に向けて、みんなが大好きな尾久幼稚園をもっと大好きになってほしいとみんなに考えてもらった70周年記念キャラクターの一つです。名前は「おぐっぼー」。そして、今年の「おぐっぼー」は、歌を楽しんでいる「おぐっぼー」。いっぱいいる「おぐっぼー」。羽をつなげている「おぐっぼー」。色々な「おぐっぼー」がいます。どの「おぐっぼー」もたのしそうですね。

子供たちを取り巻く環境は時代の変化と共に大きく変わってきました。尾久幼稚園では、その時々の子供たちの姿を見つめながら教育目標を達成するため、保育・教育の在り方、方法を常に見直してきました。

また、様々な人との関わりや多様な経験を通して、豊かな感性や表現する力を培う保育・教育をする中で、「一人ひとりが輝ける幼稚園」を目指し、子供たち一人ひとりの良いところを認め、「笑顔」を引き出し、「そのらしさ」をさらに伸ばすために、教職員は、日々研鑽し、保育・教育環境を工夫してまいりました。

この70年間で5277名の子供たちが巣立って行きました。「自分らしさ」を發揮しながら、社会の様々な分野で活躍されていることと思います。これからも子供たち一人ひとりの「笑顔」を大切に、「そのらしさ」を發揮し、輝けるよう教職員一同、心を一つにして、今まで築き上げてきたことを土台に取り組んでまいります。』



12月のねらい

《3歳 たんぽぽ組》

- ・ 教師や友達と体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- ・ 自分の思いを言葉や自分なりの方法で伝え、友達と関わることを楽しむ。
- ・ 冬の生活の仕方を知り、身の回りのことを自分でしようとする。

《4歳 うさぎ組》

- ・ 自分たちで遊びの場をつくったり、見たことや感じたことを様々な方法で表現したりして遊ぶことを楽しむ。
- ・ 季節の変化に伴い、生活の仕方が変わることを知る。

《5歳 そら組》

- ・ 友達と共通の目的に向かい、力を合わせたり役割を意識したりしながら遊びや生活を進める楽しさを味わう。
- ・ 冬の伝統行事や遊びに興味や関心をもち、進んで参加したり取り組んだりする。



やわらかな陽ざしの中で遊ぶ 風の子たち！

<年少・たんぽぽ組>

遠足に行くことを心待ちにしていたたんぽぽ組の子供たち。初めての遠足はあいにくの雨でしたが、友達とバスに乗って歌や手遊びをしたり、生物園では、目の前で蝶が蜜を吸うところを見たり、めずらしい生き物を見たり、モルモットに触れたりしてとても楽しい思い出となりました。どんぐり拾いはできませんでしたが、後日、赤土小学校の校庭に落ち葉拾いに行きました。その落ち葉と紙皿を使って、動物の顔を表現した秋の自然物の製作を楽しみました。

クラスの中では、友達との関わりが増えてきて、「○○ちゃん、一緒に遊ぼう」「お弁当一緒に食べようね」と友達を誘って一緒に遊んだり、お弁当を食べたりしながら楽しそうにおしゃべりする姿も見られます。また、集団遊びでは『椅子取りゲーム』や『むっくりくまさん』などの遊びを繰り返し楽しんだりする姿も見られます。教師も遊びに入って、友達と一緒に過ごすことを楽しめるように援助していきます。

寒さが本番になり冬の生活に必要なことも新しく増えてきますので、ひとつひとつ丁寧に関わり、身に付けていけるようにします。

<年中・うさぎ組>

尾久幼稚園創立70周年記念式典に向けて、みんなで揃えて言う言葉や歌を練習していきました。友達と声が揃う気持ち良さを感じている様子で、当日も元気いっぱい言葉と歌を披露していました。たくさんのお客様の前に堂々と立てたことに満足感をもてたようです。

学級では、鬼遊びに夢中になっている子ども達。「助け鬼したい！」などと友達を誘い、自分たちで鬼を決めて遊び始めています。また、ごっこ遊びでは、年長児のコンサートごっこのまねをして楽器を作ったり、パーティーごっこに年少児を招いておもてなしをしたりしています。年少児を招待するにあたり「チケット作らないと！」「飾りを付けようよ」など、年長児に招いてもらった経験を思い出しながら準備をしていました。年少児への接する様子は、普段の元気いっぱいのうさぎ組とはまた違った、お兄さん・お姉さんの姿でした。

12月も、子どもたちが見たものや経験したことを表現しながら遊ぶことを楽しめるように援助していきます。

<年長・そら組>

11月は、尾久幼稚園創立70周年記念式典がありました。周年に向け、みんなで考えを出し合ったり、協力したりしながら進めていったそら組の子ども達。大きな行事を終え、より一層幼稚園としての絆が深まり、一人ひとりの自信につながったように思います。大きな節目をこうして経験できたことは、子ども達にとって貴重な体験になったことと思います。

また、そら組は赤土小学校の音楽会鑑賞にも行きました。鑑賞中のマナーをしっかり守りつつ、入れ替えの時間になると、小さな声で「歌が素敵で涙が出そうになっちゃった」と感想を話していました。幼稚園に戻ってきてからも、「太鼓の音が、心臓にどおーんって響いてきたよ！」「コーラスで歌ってくれた『命の歌』を歌ってたね！」と、友達との会話が弾んでいました。小学生の立派な姿を見て、「自分たちも周年のときにかっこよく歌いたい！」と刺激を受け、さらにやる気が高まっていました。

12月も、友達と考えを出し合ったり協力したりしながら遊びや生活を進められるよう援助していきます。

◎感染性胃腸炎やインフルエンザなどの感染症が広まる時期です。

- ・ うがい、手洗いの励行
- ・ バランスのとれた食事
- ・ 人混みを避ける
- ・ 十分な休養をとる

※規則正しい生活を心がけ、疲労や睡眠不足に注意しましょう。

★お弁当を温めます 12月2日(月)より

※温めると味が変わるようなものは、別にしましよう。

※アルマイト製のものなど熱に強いお弁当箱にしてください。パッキンのものは子供の力ではあけづらくなります。

※幅広のゴムに名前を書いて、お弁当箱にはめましよう。